

<b>Title</b>	祝卒業・新入生歓迎号
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合図書館
<b>Citation</b>	ぱびるす 56 号(2013 年春), 2013, 4p
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=4376">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=4376</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

# ぱびるす



聖学院大学総合図書館報

第56号 (2013年春)

祝卒業・  
新生歓迎号



## 図書館からはじまる 世界との相互包摂

牛津 信忠



これまで多くの図書館を訪れた。それぞれが特色ある「知」の宝庫としての相貌を持ち、私たちの心に様々な形で訴えかけてくれる。

そのなかでもケンブリッジ大学のUL (University Library) について語ってみたい。

この大学図書館は、長い混乱と再組織化の旅路を経て今日に至るが、現在のULは古風な様式を残したまま、Newtonという名の検索機の完備のもとで、広範な8百万以上の図書を開架式で閲覧できる。(貴重な書籍や人気の高い書籍は閉架式閲覧である。) また大学の各学部や各カレッジ (学寮) の100以上の図書館の知的資源ともNewtonを通じて比較的自由に接することができ、その広がりも途方もなく大きい。

ところでULの開架式書庫では、目的の図書に辿り着くまでにはかなりの慣れがいる。迷路と暗がり、さらに特有な臭いに打ち勝たねばならない。また何十列もの長い書棚毎のタイマー付の電燈スイッチをつけ、それが切れる数分間で本に辿り着かねばならない。その棚に本があれば幸いで、最近では、本があふれ、置き場の変更や棚脇のサイドデスクに仮置がざらである。やっと本に辿り着き、一階のリーディングルームで読書に励むことになる。しかし5、6階で本に辿り着くと、長い距離を戻るのは時間が惜しく、書棚脇のサイドデスクでページをめくることが多い。光は細くかなりの暗がり本を読んでいることに気付く。このほの暗さにもやがて慣れ、落ち着いた雰囲気さえ感じるようになる。時間が来て、5冊まで三日間キープできるカードを挟み込み学寮へと戻る。

この図書館に日々接していると、ほの暗い空間に自らが溶け込むような感覚が訪れてくる。そうして自己を粹づけていた知の障壁が薄れ自己の解放を感じる。同時にここに集い学びの時を持った人々との本を通じての交流を感じる。知の共同に踏み入れたような嬉しさを率直に受け入れている自分がある。その感覚は図書館に深く踏み入れれば踏み入れるほど広がりを持ち、世界の知との相互包摂という感覚がさほど大げさなものではなく、確実にそこにあると思えるのである。

図書館とはそのような世界との相互包摂への入り口であるということを、このULは感じさせてくれた。それ以来、どのような図書館でも、図書館に足を踏み入れ、その特性とそこに備えられた書籍と親しみ、語られている言葉との交流を始めれば、そのような感覚が訪れてくるようになった。私にとってのULはそのことを教えてくれた貴重な場となった。

(人間福祉学部長 人間福祉学部教授)

## 著書紹介

### 社会福祉における場の究明 —共感的共同からトポスへ至る現象学的考察—

牛津信忠(著) 丸善出版 2012年12月

本書は、現象学に基づく福祉哲学の領域を切り開く試みである。特に科学によっては捉え難い「人格」をその軸芯とすることによって、真の福祉への道が、相互包摂情況という特性を持つトポス(場)へと続くことを解明しようとする。

※この本は本学初の電子書籍として導入されました。OPACから接続してご利用ください。



# 図書館のお仕事?!

図書館のアルバイトをご存知ですか？2種類のライブラリー・アシスタント（LA）と呼ばれる人たちが図書館で活動しています。今回は、そんな人たちの活動の様子を紹介します。

## ライブラリー・アシスタント（PC）



LA(PC)は、図書館3階のカウンターを担当。ノートPCの貸出や、視聴覚コーナーの利用を補助します。パソコンについての質問にも対応。パソコンが得意な人や、これから得意になりたい人にオススメ?! 授業の空いた時間に担当しています。

### ▶2012年度の担当者に訊いてみました！

#### Q 担当してよかったことは？

A 授業と授業の間にアルバイトができたこと。移動時間を考えなくていいのでやりやすかった。

A ワードやエクセルの質問にも答えられるようになりました。

#### Q 利用者をお願いしたいことはありますか？

A ヘッドホンの音もれに気をつけてほしいです。

A 視聴覚ブースを申込みをせずに使っている人がいます。利用票を記入してから利用ください。

A 申込や返却のときに、一言声をかけてもらえるとうれしいです。



2012年度は総勢11名が交代で担当しました



## ライブラリー・アシスタント（夜間）

LA（夜間）は、図書館の夜間開館を補助するお仕事。平日の17：30以降や土曜日の午後に働いています。主な業務は、資料の返却や、書架の整理、机の掃除、時にはカウンター対応など。図書館員になりたい人や、図書館の仕事の裏側を知りたい人にオススメ?!

### ▶2012年度の担当者に訊いてみました！

#### Q 業務をしてみてよかったことは？

A 配架の中で興味深い本に出会えたこと。

A 図書館業務を実際に見て体験できたこと。

#### Q 業務で大変だったことは？

A 返却作業は慣れるまで大変だったけど、今は早くなりました（笑）

A 書架がいっぱいだったり、乱れていたり、返却や書架整理は大変でした。

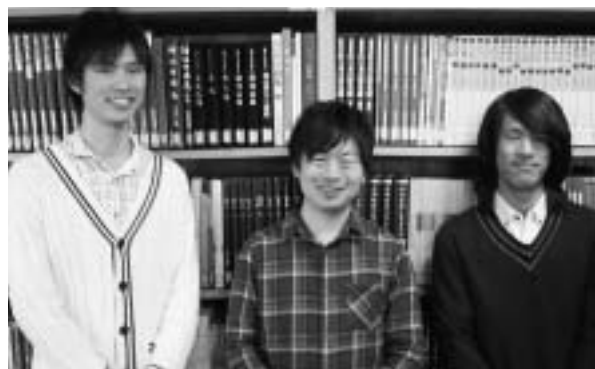
A ブックカバーをかける作業は、難しいけど嫌いじゃない…?!

#### Q よく受ける質問は？

A 印刷方法やPCの使い方をよく訊かれます。

A 本を探してくれとか…。一緒に探します。

A オンラインレポートの提出方法を訊かれて困りました。やったことがなくて…。



2012年度は他の2名とともに5名で担当しました



## 図書館職員の仕事も 見てみましょう！

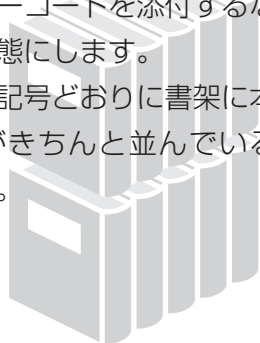
### ■ 図書館職員の基本的な業務

#### 〈サービス〉

- 1階のカウンターでは資料の貸出・返却のほかレポートの書き方やデータベースの使い方などの相談も受け付けています。
- リクエストやILL（他図書館からの資料の取り寄せ）なども行ないます。図書館で欲しい資料が見つからないときは、カウンターへご相談ください。

#### 〈資料管理〉

- リクエストや先生方からの推薦を受け、資料の発注を行います。また書店から納品された資料をシステムに登録し、バーコードを添付するなど、資料を利用できる状態にします。
- 本の背中に貼られた請求記号どおりに書架に本を並べます。書架の本がきちんと並んでいるか、毎朝点検しています。



### ■ 季節の業務?!

#### 〈ガイダンス〉

- 授業のうちの1コマやAHなどの時間をいただいて、図書館ガイダンスを実施しています。このガイダンスでは、図書館の利用方法や資料の収集方法などを図書館員がやさしくご案内します。主に春学期中に実施することが多いですが、時には12月や1月にも行ないます。個別で受けたい方はカウンターへご相談ください。

#### 〈蔵書点検・開館準備〉

- 2月は蔵書点検を実施します。蔵書点検とは、いわゆる棚卸しのようなもの。図書館に正しく資料があるかどうかを確認する作業です。データ処理期間中、図書館は休館となります。
- 3月と9月には新学期に向けて、館内の整備や書架資料の入替や整理などを実施します。

## 図書館・2012年度の活動

### ● 「Library Guide」が一新

「Library Guide」が4年ぶりに新しくなりました。資料の探し方も盛り込みました。



### ● 展示が充実?!

絵本架や書架に展示コーナーが増設されました。さらには学科などとの連動企画展示も複数開催するなど充実してきています。

#### 2012年度の連動企画展示

##### ● 欧米文化学科 AH 連動企画

本からはじまったアメリカ黒人解放運動

##### ● 日本文化学科 AH 連動企画

平清盛 ～『平家物語』の世界～

##### ● アドミッション課連携企画

わたしたちのブックレビュー ほか

### ● 和雑誌継続の見直し

図書委員会を中心に和雑誌の継続について見直しを実施。一般誌については利用状況アンケートも初めて実施してみました。

### ● 図書および絵本装備変更

図書資料の装備方法が変わりました。絵本やハードカバーのカバーを残すことで資料の顔がわかるようになりました。

### ● 学外発表「図書館雑誌」「DRF 9」

『図書館雑誌』に「SERVE」に関する記事が掲載されたほか、国立情報学研究所で開催された新任担当者研修では本学職員が講師を担当。また DRF 9 全国ワークショップでも事例報告を行うなど、学外での発表等が活発に行なわれました。

### ● 「SERVE」2000件突破

登録コンテンツが2000件を突破。記念インタビューは副学長の標宣男先生でした。この様子は、SERVE (<http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/s/>)で見られます。

### ● トイレ改装

2階女子トイレの洗面台が改装され、使いやすくなりました。

## 寄贈資料

牟田隆郎先生、聖学院大学後援会より寄贈をいただきました。ありがとうございました。



# 2012年図書館の統計

(2013年1月31日現在)

## I 図書館の推移

	学生数	蔵書数	年間受入冊数	開館日数	貸出冊数	図書費
	人	冊	冊	日	千冊	千円
2012	2,513	296,694	4,261	283	15.8	11,815
2011	2,677	293,148	4,930	275	16	19,723
2010	2,768	288,629	5,116	288	16	18,460
2009	2,724	283,610	5,042	281	16.9	18,761
2008	2,827	277,506	6,570	280	17.6	30,583
2007	2,875	273,877	8,148	276	17.9	32,267
2006	2,969	264,673	7,869	236	19.5	32,345
2005	2,968	254,921	6,878	232	18.4	29,700
2004	2,938	247,250	8,287	275	17.5	30,400
2003	2,929	242,368	6,220	275	17.6	30,344
2000	2,549	219,368	6,769	274	18	35,805
1995	2,137	163,506	13,438	271	21.5	39,700
1990	1,769	96,752	8,195	280	11.8	22,650
1985	1,005	51,000	5,043	284	10.1	12,399
1980	877	36,000	2,599	236	6.8	7,588
1975	763	22,000	4,265	183	3.5	3,754
1968	256	10,000	2,838	[247]	[1.4]	[1380]
1967	125	7,000		[247]	[1.4]	[1380]

規程の変更に伴い、1999年以降は消耗品図書も含めた冊数とした。

## II 蔵書冊数

	和書	洋書	合計
総記	11,342	1,455	12,797
哲学・宗教	21,454	16,126	37,580
歴史・地理	18,848	3,330	22,178
社会科学(含教育学・福祉)	80,774	18,466	99,240
自然科学(含医学)	15,279	1,295	16,574
工学(含家事)	5,023	477	5,500
産業	5,452	470	5,922
芸術(含楽譜)	10,371	917	11,288
語学	11,112	2,930	14,042
文学	42,006	14,246	56,252
その他	10,070	5,251	15,321
合計	231,731	64,963	296,694

## III その他の蔵書資料数

和雑誌(紀要・寄贈含)	431	カセットテープ	1,072
洋雑誌(寄贈含)	119	ビデオ・LD・DVD	3,023
スライド	34	CD	1,216
マイクロ資料	18,825	CD-ROM	735

## IV 館外貸出冊数(図書・製本雑誌):分類別

(2012年4月1日～2013年1月31日)

学生・院生・履修生のみ

	和書	洋書	合計
総記	549	0	549
哲学・宗教	1,994	26	2,020
歴史・地理	1,047	2	1,049
社会科学(含教育学・福祉)	5,536	30	5,566
自然科学(含医学)	598	7	605
工学(含家事)	309	0	309
産業	226	0	226
芸術(含楽譜)	887	1	888
語学	1,004	20	1,024
文学	2,579	9	2,588
その他	970	16	986
合計	15,699	111	15,810

## V その他(他館との協力等)

(2012年4月1日～2013年1月31日)

資料借用	168	紹介状発行	20
(内、学生・院生 32)		(内、院生 9)	
資料貸出	35	紹介状受付	1
複写依頼	432	視聴覚コーナー利用	1,748
(内、学生・院生 154)		館内ノート PC 貸出	6,610
複写受付	327	文献検索	42

## VI 館外貸出冊数:学科・学年別

(2012年4月1日～2013年1月31日)

所属・学年	図書(製本含む)	未製本雑誌	CD
政治政策	2年 51	24	0
	1年 280	1	0
アメ・ヨ文化	後3年 114	0	3
	後2年 26	0	0
	後1年 166	6	5
	2年 196	31	0
	1年 74	0	3
人間福祉	2年 30	0	0
	1年 180	16	0
科目等	51	1	1
大学院生小計	1,168	79	12
政治経済	4年 433	3	9
	3年 725	2	1
	2年 338	18	21
	1年 373	0	1
コミュニティ政策	4年 212	5	2
	3年 359	0	6
	2年 339	1	9
	1年 188	27	4
欧米文化	4年 861	3	23
	3年 1,033	30	44
	2年 605	1	33
	1年 412	4	13
日本文化	4年 872	3	7
	3年 1,715	8	12
	2年 1,105	2	4
	1年 510	0	0
児童	4年 971	8	2
	3年 902	4	7
	2年 561	12	11
	1年 499	0	7
こども心理	1年 390	2	0
人間福祉	4年 358	26	1
	3年 386	8	2
	2年 323	3	12
	1年 131	0	1
科目等	41	1	2
学部生小計	14,642	171	234
院生・学生合計	15,810	250	246

発行・編集 聖学院大学総合図書館  
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号  
電話 048-725-5461 FAX 048-780-1096  
E-mail: lib@seigakuin-univ.ac.jp  
URL: http://seiglib.seigakuin-univ.ac.jp/